

ネイチャーフットプリント

金融機関の活用を想定した 自然資本に関する ライフサイクル評価手法

申請フォーム



2026年 3/13 (金) 9:30 - 17:00



TNFD 提言を受け、自然資本の情報開示を宣言する企業が増える中、「いかに定量評価するか」が共通の課題となっています。バリューチェーン全体を網羅的に定量評価できる手法として、現在 LCA（ライフサイクルアセスメント）に注目が集まっています。

我々はこれまで、日本標準の影響評価手法「LIME」の開発を推進してきました。この度、内閣府 BRIDGE プロジェクトの支援を受け、自然・生物多様性に特化した新指標「ネイチャーフットプリント」を開発・実証いたしました。

本セミナーでは、同プロジェクトの成果として、同指標の詳細な評価手法や国内企業による活用事例を紹介します。自然資本の定量評価や情報開示、サステナブルファイナンスに関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

【第1部】ネイチャーフットプリントに対する政府・金融機関の期待

9:30～ 開催挨拶

内閣府知的財産戦略推進事務局
谷貝 雄三

9:35～

自然関連情報開示に関する環境省の活動と
BRIDGEプロジェクトの紹介環境省生物多様性主流化室
大澤 晃一

10:00～

金融機関におけるネイチャー
フットプリントへの期待と今後の展望政策研究大学院大学教授
竹ヶ原 啓介

10:30～ 休憩

10:40～

金融機関におけるネイチャー
フットプリントに対する活用方法MS&ADインターリスク総研
寺崎 康介

10:55～

資生堂におけるネイチャー
フットプリントの評価とTNFD報告資生堂
大橋 憲司

11:10～

農林中央金庫における
ネイチャーフットプリントの活用農林中央金庫
飛弾 則雄

【第2部】ネイチャーフットプリント評価結果の展示

11:30～

協賛企業によるショートプレゼン

TCO2
LCAエキスパートセンター

11:45～

ネイチャーフットプリント評価結果
(ポスター展示)

BRIDGE参加企業

【第3部】ネイチャーフットプリントの影響評価手法ver1

13:30～

ネイチャーフットプリント評価手法の
概要と特徴早稲田大学理工学術院 教授
伊坪 徳宏

13:50～

生態系サービスの影響評価手法

京都大学農学研究科 教授
栗山 浩一

14:10～

気候変動・土地利用による生物種の
生息域を予測する手法国立研究開発法人
森林研究・整備機構 主任研究員
大橋 春香 (オンライン)

14:30～ 休憩

14:45～

気候変動の生物多様性・生態系
サービス評価手法国立研究開発法人農業・食品産業技術
総合研究機構 主任研究員
湯 龍龍

15:05～

富栄養化の生物多様性影響評価手法

総合地球環境学研究所 教授
林 健太郎

15:25～

水資源消費の生物多様性・生態系
サービス評価手法国立研究開発法人
産業技術総合研究所研究 チーム長
本下晶晴

15:45～ 休憩

16:00～

天然資源採掘の生物多様性・生態系
サービス評価手法国立研究開発法人
産業技術総合研究所主任研究員
横井峻佑

16:20～

土地利用の生物多様性・生態系
サービス評価手法早稲田大学持続的環境エネルギー
社会共創研究機構 研究助手 劉潤桺
早稲田大学理工学術院 教授 伊坪徳宏

16:40～

多地域間産業連関分析を用いた
ネイチャーフットプリント東北大学大学院環境科学
研究科准教授
金本 圭一郎 (オンライン)

17:00～ 閉会挨拶

早稲田大学理工学術院 教授
伊坪 徳宏

17:30～ 懇親会

リーガロイヤルホテル東京

会 場 早稲田大学 121 号館コマツ 100 周年記念ホール (東京都新宿区早稲田鶴巻町 513) / Zoom

主 催 SPEED 研究会

共 催 環境省、循環バリューチェーンコンソーシアム 早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構

協賛企業 TCO2 株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社、株式会社 LCA エキスパートセンター

協 力 LCA 日本フォーラム、公益財団法人日本環境協会、グリーン購入ネットワーク、一般社団法人サステナブル経営推進機構